

南三陸町歌津港地区を対象として開催した災害復旧事業説明会概要

件名	第2回 東日本大震災による公共土木施設災害復旧事業説明会(港地区)
日時	平成 24 年 8 月 29 日 (水) 18:30 ~ 19:30
場所	港親義会館
出席者	南三陸町歌津 港地区住民及び地権者 約70名出席

概要

1. 説明会の目的

港地区において、南三陸町役場、気仙沼土木事務所が各々管理する町漁港、町道と港川の、公共土木施設があり、昨年の大震災により甚大な被害を受けたため、災害復旧事業申請を行い、現在は復旧施設の設計を進めています。今回は第2回目の開催で港川の河道計画に合わせた町道復旧計画の説明と、河川法線を右岸側に寄せた計画図を作成し、各事業への御理解と御協力を求めました。

(次回は詳細設計を行い、買収範囲が確定した段階で説明会を開催予定です。)



2. 住民からの質問・意見

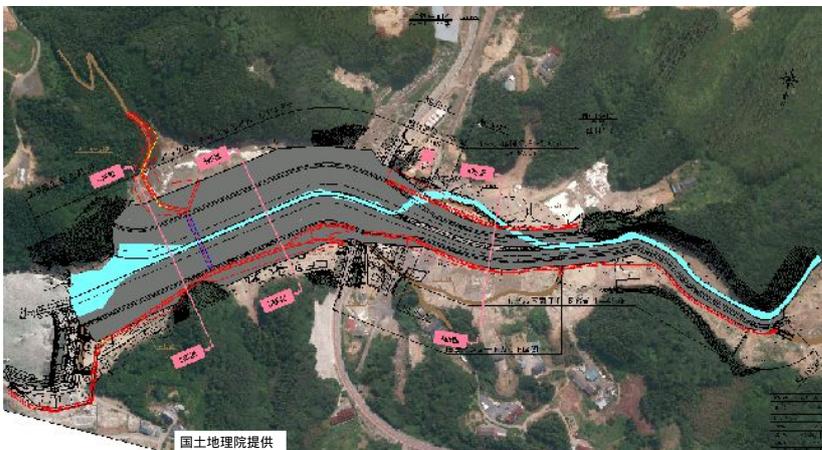
- ① 国道45号の新設橋は何処に架かるか解らないのか？
- ② 復旧する町道の幅員はどれぐらいか？利用形態が変わるので幅員を広く、利用しやすくしてほしい。
- ③ ずいぶん大きな堤防となるようだが排水処理をちゃんと考えてほしい。
- ④ 用地の買収時期は何時か？

3. 気仙沼土木事務所からの回答

- ① 復旧方法には2パターンあり、現橋を走行させ新橋を下流側に架ける方法と、下流側に仮設の橋梁を架けて、原位置に橋を復旧する方法、来週国道側と協議を行う予定ですので、改めて御説明します。
- ② 災害復旧事業なので基本的には現況見合いとなり、3.5m~4.0m程度と考えられます。
ただ、新設する道路は地形が変わり見通しも悪くなる箇所もあるため、別途検討します。(南三陸町)
- ③ 背後地を含めて樋門をどの位置にするか検討中で現地立会も含めて位置を決めさせていただきます。
- ④ 10月以降にお願いしたいと考えています。また、河川用地は県、町道用地は町で買収します。防災集団移転による町での買収ではありませんが、用地際については役場と相談してください。

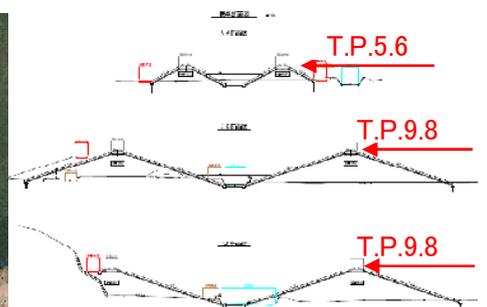
※右岸山付け案の図面を確認してもらいましたが、現河道位置での計画案で作業を進めることになりました。

港川 標準断面図



国土地理院提供

港川 航空写真



説明会の状況